2023年度2学期面接授業

「心理検査法基礎実習」K レポート用紙①

学生番号　　　211-003199-6　　　　　氏名　　　　牛根　嘉孝　　　　.

検査名：　TEG3 ＜集団実施＞

・検査者：　牛根 嘉孝　　　被検査者：　牛根 嘉孝（36歳、男性）

検査年月日：　2023年11月11日（土）13:49～　所要時間：5分

・検査実施時の様子：　実施前の様子は、13時に食事を摂ったあと、午前中の講義の疲労感に対ししっかり

休憩を取っていた。また、姿勢よくペンをとっていた。実施中は、先生が何か言われていたが、飛行機の音で

聞こえなかったのか、周囲を見渡す様子が見られた。実施後、プロフィールを予想する講義場面があったが、

その前にプロフィール結果を出してしまっていた。

・主な結果：　CP＝12、NP＝12、A＝18、FC＝8、AC＝14、L=0、Q=0が明らかになり、プロフィールの型はＡ優

位であった。また、全体的なプロフィールの位置は高めであった。加えて、妥当性が高いことも分かった。

・所見：　検査の前にしっかりと休憩をとっていた点に加え、Ａ優位の結果が導き出されたことから、能率性、

生産性の高さが示された。一方、やや能率的すぎるためか、時には早合点の傾向となることも暗示された。

検査名：　BDI-Ⅱ ＜集団実施＞

・検査者：　牛根 嘉孝　　　被検査者：　牛根 嘉孝（36歳、男性）

検査年月日：2023年11月11日（土）　14:50～　所要時間：4分

・検査実施時の様子：　実施前は、目をしばしばさせ表紙を見ていた。実施中、先生の説明があるとペンを止

めてしっかり聞く様子が見られたが、表情はややぼーっとしている様に感じられた。実施後、腕を組んで休ん

でいる一方、BD-Ⅱの講義資料を先読みしていた。他方、自殺念慮の項目は0点であった。

・主な結果：　BDI-Ⅱ=6点が明らかになり、０-13点範囲内であることから、極軽症が示された。また、選

ばれた項目は、悲しさ、悲観、被罰感、激越、活力喪失、疲労感であるが、得点はすべて1点であった。

・所見：　確かに、目をしばしばさせたり、ややぼーっとした様子や、腕を組んで休む様子がみられる。しか

し、BDI-Ⅱ=6点（極軽症）であること、講義後半であること、食後2時間であることから、抑うつというよ

りは、誰にでもある一時的な眠気があったと思われる。一方、選択された項目に悲しさがあることは明確であ

る。したがって、何か悲しいことがあったのか等、丁重に聞いてみることも検討する余地があるだろう。

検査名：　バウムテスト 二枚法 （1枚目：枠なし、 2枚目：枠あり）＜集団実施＞

・検査者：　牛根 嘉孝　　　　被検査者：　牛根 嘉孝（36歳、男性）

 検査年月日：　2023年11月11日（土）15:50～　　所要時間：9分

・検査実施時の様子

実施前、放送大学の教材である心理的アセスメント（'20）のp.51をさらっと読んでおく様子がみられた。

実施中、まず、木の幹から書き始め、ささっと書いたかと思うとすぐ消した。つぎに、幹をよりハの字に書き、

遠近がはっきり分かるように書き直した。その後、枝、葉、実、根の順で書き、葉と実を付け加えた。一方、

枠ありでは、枝、幹、根、葉、実の順で書き、途中で付け加えることはなかった。実施後、本人に直接聞いた

わけではないが、1枚目（枠なし）に比べ、2枚目（枠あり）ではやや満足そうな表情に感じられた。

・主な結果

　紙面いっぱいに描いた窮屈そうな樹幹に対して、根から地面は６ｃｍほどの余裕があった。また、根は太く、

幹は広葉樹のような複雑な陰影があり、境界線はハの字で明確に描画されていた。さらに、幹から枝にかけて

は2本線であるものの繊細につなぎ合わせており、本物のように全方位に描かれ、すべて10°~90°の上に向

いていたうえ、約35本の枝の先端はすべて閉鎖していた。加えて、やや鋭利な葉は、すべての枝の先端に集

合体で描かれ、その中にマルベリーのような黒くて小さな実がバランスよく大量に散在していた。一方、

2枚目（枠あり）も同じ種類の木が描かれていたが、明確な点は、幹の中にも枝葉が描かれ、その左側には

出っ張ったウロが木の高さの中央部分に見られた。また、さらに左側には2本の枝葉が左45°下に向いてい

た。他方、強調された点は、樹幹がより大きく窮屈になり、枠と接触していたうえ、根もより太くなり、

根から地面は2cmと狭まった。また、幹の陰影も濃くなり、枝の先端の数も約50本に増えていた。

・所見

1枚目（枠なし）では、木が上のバランスに描かれているが、空間象徴的に捉えるならば、理性的なパーソ

ナリティであることが暗示される。また、幹の陰影や、細かな枝分かれを病的現象の理解として捉えるならば、

丁寧であり、やや神経質である可能性も考えられる。一方、2枚目（枠あり）では、左側のウロが注目される

が、ヴィトゲンシュタイン指数によると、18歳前後の外傷体験が推測されるという考え方もある。また、空

間象徴的理解にもとづくと、過去の内省的な出来事があったと捉える方法もある。さらに、ウロの左側にある

2本の枝葉が左45°下に向いているが、気分が落ち込むような出来事であったのだろうと仄めかされる。

加えて、2枚目（枠あり）では、さらに樹幹が大きくなり、枠と接触している。したがって、枠にはめると、

過去の外傷体験を思い出し、神経質になる一方、昇華して対処しようとする傾向があることが仄めかされる。

2023年度2学期面接授業

「心理検査法基礎実習」K レポート用紙②

学生番号　　　211-003199-6　　　　　氏名　　　　牛根　嘉孝　　　　.

検査名：　YG性格検査 ＜集団実施＞

・検査者：　牛根 嘉孝　　　　被検査者：　牛根 嘉孝（36歳、男性）

検査年月日：　2023年11月12日（日）9:55～　　所要時間：15分

・検査実施時の様子

実施前、他の検査者より少し時間がたって練習を開始した。一度書いてしまえば、さらさらと書き終えた。

実施中、1項目7秒程度で一定して〇つけし、全項目スピードはほとんど変わらなかった。また、〇は線にな

ぞって正確に書かれていた。実施後、YG性格検査の説明を読んでいたが、表情が変化し、ずっと難しそうな

表情で経過していた。

・主な結果

　まず、検査態度は良好で、△回答は3つであることから、結果の妥当性に問題はみられなかった。また、

12因子のうちD＝7、C＝2、I＝2、N＝8、O＝4、Co=12、Ag=4、G =11、R=1、T=0、A=10、S=8が明らかとなった。

これにより、類型はC型（平穏型）が示された。一方、12因子のまとまり具合に着目すると、C型（平穏型）

の類型のなかでも特にR（のんきでない特性、標準点1、パーセンタイル約3%）、T（思考的内向性の特性、

標準点1、パーセンタイル約2%）の2因子が突出して低いことが示唆された。他方、C型（平穏型）の類型

とは対照的に、Co（非協調的特性、標準点4、パーセンタイル約80%）、A（支配的特性、標準点3、パーセン

タイル約60%）の2因子が比較的突出して高いことも示唆された。

・所見

　冷静沈着に受検を開始した点、安定的かつ正確に作業をすすめていった点から、C型（平穏型）の類型が示

されたことに矛盾はないと思われる。一方、C型（平穏型）とは裏腹に、受検終了後も、難しい表情でYG性

格検査の説明を読んでいる場面がみられた。確かに、120項目に及ぶ心理検査の受検に不慣れであることも考

えられる。しかし、特性論的に理解を深めるならば、内省的特性と非協調的・支配的特性がやや葛藤している

部分があり、自己内に複雑な心境やつらさ、問題点などを抱えやすい特性があることも関係している可能性が

考えられるだろう。また、ネガティブな感情は表情で伝播しやすいとされている。したがって、C型（平穏型）

ではあるが、ストレスを抱え込みやすく、時にはやや非協調的になってしまう側面があることも考えられる。

・総合所見

検査結果から、被験者は能率性と生産性が高く、冷静かつ沈着な態度で心理検査に臨む一方で、一時的な眠

気や早合点の傾向が見られることが示唆された。TEG3検査においては、検査前の休憩と姿勢の良さから能率

性の高さが浮かび上がり、結果もA優位で全体的な位置が高かった。ただし、時折の早合点が指摘され、バラ

ンスの取り方に注意が必要かもしれない。

BDI-Ⅱ検査では、一時的な眠気や食後の影響も考えられたが、極軽症（０-13点）の結果が示された。しか

し、選ばれた項目に悲しさが見られ、何か悲しい出来事があった可能性が示唆された。丁寧な質問によって、

感情面の理解を深めることが求められる。

バウムテストでは、枠なしと枠ありでの描画の違いから、被験者が外傷体験や過去の内省的な出来事を抱え

ている可能性が浮かび上がった。また、YG性格検査では、C型（平穏型）が示され、冷静な態度と一貫性が

見受けられたが、内省的特性と非協調的・支配的特性がやや葛藤しており、ストレスを抱え込みやすくなって

いることが示唆された。

総合的に見ると、被験者は一般的に冷静でありながら、感情面での複雑な側面が垣間見える。また、能率性

が高い反面、時にはやや早合点や非協調的・支配的な傾向があるため、感情面やストレスへの対処法に焦点を

当てるべきであろう。結論として、緊急性は感じられないものの、長期的なサポートやコミュニケーションの

機会を提供することで、より深い理解と健康な心の状態を促進する可能性があると考えられる。